

えびの

ボランティア
センターだより

第24号

2024年7月19日

みやざきボランティア体験月間 2024

「困りごとお助け隊」

7月～9月はボランティア体験月間です。

地域の高齢者の中には、「ゴミ捨てや買い物に行けない」「庭の手入れができない」など生活上の困りごとがとて増えています。このボランティア体験では、中学生ボランティアが「困りごとお助け隊」として高齢者のお宅を訪問し、草取りや窓ふきなどのお手伝いを行います。

《令和6年度開催日程》

真幸中学校
7月29日

上江中学校
7月31日

飯野中学校
8月1日

加久藤中学校
8月8日



※写真は昨年度の様子です。

発行／社会福祉法人 えびの市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒889-4221 宮崎県えびの市大字栗下 67 TEL 0984-35-2800 FAX 0984-35-1983



令和6年度 能登半島地震に伴う職員派遣

令和6年度能登半島地震による被災地支援を行なうため、九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、被災地社協の災害ボランティアセンターに対し職員派遣が行われております。

6/29 現在、九州ブロックより、約180名の職員が派遣されました。

(活動報告)

令和6年元旦の能登半島震災は、地震、津波、火災と3つの自然災害が発生し、大きな被害が残る災害でした。私は今回、石川県にある珠洲市ボランティアセンターに派遣されました。

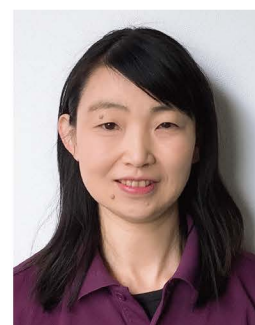
現在、珠洲市社会福祉協議会の職員がボランティアセンターの運営に関わる職員は2〜3名程度で、運営は九州ブロック、四国ブロック、東海ブロックの県や市町村社会福祉協議会の職員が交代で引き継ぎをしながら運営しています。派遣された職員が責任を持って、ニーズ班、マッチング班、資機材班、現地調査班を運営しています。私もニーズ班に所属し、ニーズ受け付け、ニーズ票入力、現地調査の依頼、毎日の相談件数の集計など、貴重なお仕事をさせていただきました。

今回のボランティアセンターでは、珠洲市社会福祉協議会がボランティア募集するのではなく、石川県ボランティアセンターに登録されたボランティアの方々が団体ボランティアとして参加されます。個人ボランティアの受け付けはされていませんでした。毎日、ボランティアセンターのバスを使い集団で来られます。仕事内容もブルーシート張り、重い家財道具や電化製品などの搬送など、一般ボランティアで難しい依頼もあるので、一般と技術屋さんとの相談とに分かれます。4〜5割が技術屋さん依頼の仕事でした。まだまだ、復興支援が進んでいないことが分かります。

ボランティアセンターの運営は分かりましたが、それ以上に、同じ日本で、この様に大きな災害があったこと、まだまだ復興が進まない現状があることを知る必要があります。日本全国民の皆さんの応援が必要だと思います。遠く離れたえびの市ではありますが、自分が住む地域でも自然災害が起きるかもしれないということを念頭に置き、1日でも早い復興を心より願っております。



報告者



えびの市社会福祉協議会
(介護支援専門員) 内田 有美

地域の生活支援の 取り組み・居場所の紹介

湯田おたすけ隊

令和5年2月、湯田地区に地域のちょっとした困り事解決「湯田おたすけ隊」が発足しました。

令和5年度は、高齢者の一人暮らしのゴミ捨てや庭木の剪定、買い物代行、リモコンの電池交換、夜間の点灯消し忘れなど、見守りを兼ねた地域の困りごとを解決されています。8世帯に対して、年間95件の活動をされました。今年度も意欲的に活動されています。

青空サロン「だいでんきゃんせ」

堀浦自治会では、令和4年5月、地域の居場所として青空サロン「だいでんきゃんせ」が発足しました。月1回、公民館や青空の下で、みんなで「ワイワイ、がやがや」楽しく交流をされています。今回、6月13日にお邪魔したところ、公民館の外まで、大きな笑い声が聞かれていました。



散髪ボランティアの方が、予約された高齢者の方々を順番に散髪されていました。整った髪型を皆で、褒め合いながら、楽しい会話が弾んでいました。参加者の方からは、「ここに来るのが楽しみで仕方がありません」と話されていました。

この日は、午前10時から夕方まで、過ごされていました。

社会福祉協議会では、各自治会に、ちょっとした困り事おたすけ隊「微助っ人クラブ」の発足を目指しています。急速な高齢化に伴い、今後、ゴミ捨てや買い物、電気の交換、庭の手入れなど、生活上の困り事が一気に増える可能性があります。ちょっとした困り事は、自治会内で解決できる仕組みづくりをはじめませんか？

地域の助け合いについて、令和6年度は各自治会でふくしの座談会を開催しています。希望される自治会は、社会福祉協議会までお問い合わせください。

暮らしねっとサポーター養成研修



「困ったときはお互いさま!!」

地域の助け合いについて楽しく学びましょう。

日 程：令和6年8月26日(月)・8月30日(金)18時30分～20時00分
場 所：総合福祉センター2階 ※両日参加できる方が対象です。
申し込み先：0984-35-2800 えびの市社会福祉協議会 事業課まで



子育て応援事業

～田の神さあの贈りもの～

子育て中の皆さん
是非ご登録下さい!



子育て応援事業
公式 LINE アカウント

えびの市社会福祉協議会(えびの市ボランティアセンター)では、子育て応援事業の取り組みとして、カレーの日(こども食堂)や、食材の無料提供を行なうフードパントリーを定期的に開催しています。また、使わなくなった、こども服・おもちゃ・育児用品などを、必要とする方へ“無料”でお譲りする「お譲り会」を、カレーの日(こども食堂)に合わせて開催しています。えびの市在住で子育て世帯の方であれば、どなたでもご利用になれます。

開催につきましては、「子育て応援事業」～田の神さあの贈りもの～公式 LINE アカウントよりご案内しますので、是非ご登録ください。



ボランティア募集中!

私たちと一緒に、こども食堂のボランティアしませんか。

*活動内容は、調理や会場運営などです。

興味のある方は、35-2800にお電話ください。



収集ボランティア事業報告

令和5年11月から令和6年6月までにお寄せいただいたエコキャップ259Kg分を、「世界の子供にワクチンを日本委員会」に寄付いたしました。ポリオワクチンに換算すると38名分のワクチンが開発途上国の子供たちへ届けられます。皆様のご協力ありがとうございます。



お米の寄付をお願いします!

えびの市社会福祉協議会では、こども宅食やこども食堂(カレーの日)を開催しており、毎月6俵ほどのお米を必要としています。寄付いただける方は是非ご協力をお願いします。



受取り方法

事前にお電話をお願いします (TEL35-2800)
お持込が難しい場合は、受け取りにお伺いいたします。

えびの市ボランティアセンター
LINE 公式アカウント



【ID 検索】
@518itloh
と入力。



ボランティアセンターからの情報をお届けします。是非ご登録ください!

えびの市ボランティアセンター 電話 35-2800
(えびの市社会福祉協議会) FAX 35-1983